

4. 各処理方式の詳細

4. 各処理方式の詳細

4.1 インタラクティブ処理方式（NACCSパッケージソフトを使用）

4.1.1 処理方式概要

NACCS におけるインタラクティブ処理方式（NACCS パッケージソフトを使用）の概要を、図 4-1-1 に示す。なお、e-mail 送信については、「4.6.1 e-mail」を参照すること。

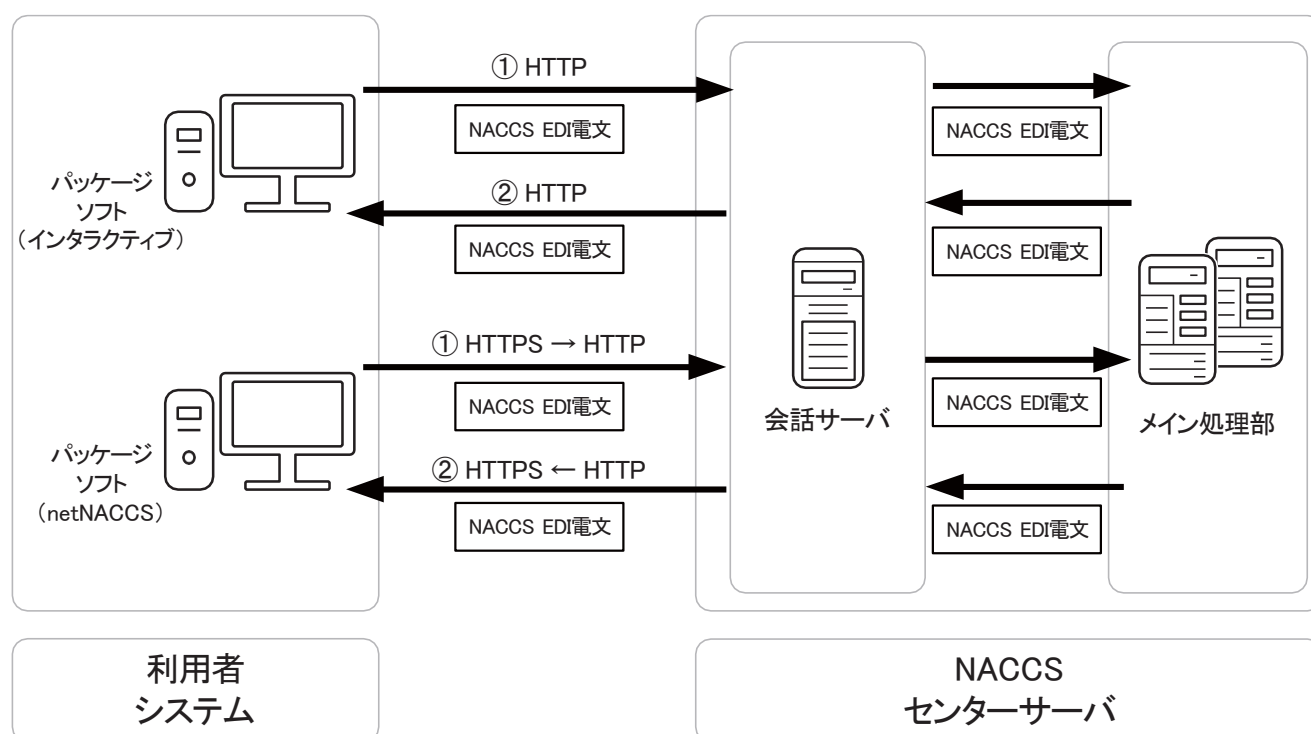


図 4-1-1 インタラクティブ処理方式（NACCS パッケージソフトを使用）の処理方式概要

- ①利用者は、業務において必要とされる項目を NACCS パッケージソフト（『パッケージソフト インタラクティブ処理方式』または『パッケージソフト netNACCS 処理方式』）の業務画面に入力し、NACCS センターサーバに送信する。
- ②メイン処理部では、送信された処理要求電文に基づき業務処理を行った後、利用者に対して処理結果電文が返却される。利用者は、NACCS パッケージソフトの業務画面にて処理結果を確認する。

4.1.2 通信プロトコルの詳細

(1) NACCSネットワークの場合

NACCS におけるインタラクティブ処理方式（インタラクティブ）の通信プロトコルには、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層には、HTTP を採用する。ただし、本処理方式の通信制御は、すべて NACCS パッケージソフトが行うため、利用者は通信プロトコルを意識する必要はない。

(2) インターネットの場合

NACCS におけるインタラクティブ処理方式（netNACCS）の通信プロトコルには、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層には、HTTPS を採用する。^(注)ただし、本処理方式の通信制御は、すべて NACCS パッケージソフトが行うため、利用者は通信プロトコルを意識する必要はない。

(注) パッケージソフト～インターネット接続基盤まではHTTPS、インターネット接続基盤～会話サーバまではHTTPとなる。

4.1.3 業務処理シーケンス

インタラクティブ処理方式（NACCS パッケージソフトを使用）における業務処理シーケンスを、図 4-1-2 以降に示す。なお電文についての詳細は、「第 3 章 電文方式と構造」を参照すること。

また、業務処理シーケンス上に示される帳票電文テーブルについては以下(1)の内容を参照すること。

(1) 帳票電文テーブルについて

帳票電文テーブルとは、電文種別が帳票用[P]、[A]、社内インターフェース用[T]または蓄積用[U]の出力情報電文(帳票用)が一時的に格納されるテーブルのことを示す。

このテーブルに格納された出力情報電文(帳票用)の取り出し方法は、格納先の違いにより、以下の 2 つがある。格納先の詳細は、「3.7 帳票電文テーブル及び取出し業務について」を参照すること。

QST（端末出力型電文キュー）に格納された場合：下記①を参照

QEX（蓄積型電文キュー）に格納された場合：下記②を参照

①出力情報電文(帳票用)を論理端末名単位に取り出す方法

出力情報電文(帳票用)を論理端末名単位に取り出す際は、NACCS パッケージソフトに搭載された以下の機能のいずれかを用いる。

- ・タイマーによる処理要求電文(帳票取り出し要求)の発行
- ・手動(即時電文取出)による処理要求電文(帳票取り出し要求)の発行
- ・処理結果通知電文の受信と連動した処理要求電文(帳票取り出し要求)の発行

②出力情報電文(帳票用)を利用者コード単位に取り出す方法

出力情報電文(帳票用)を利用者コード単位に取り出す際は、蓄積電文取出を用いる。

(2) INQ型電文の場合の業務処理シーケンス例

(A) 正常に処理される場合

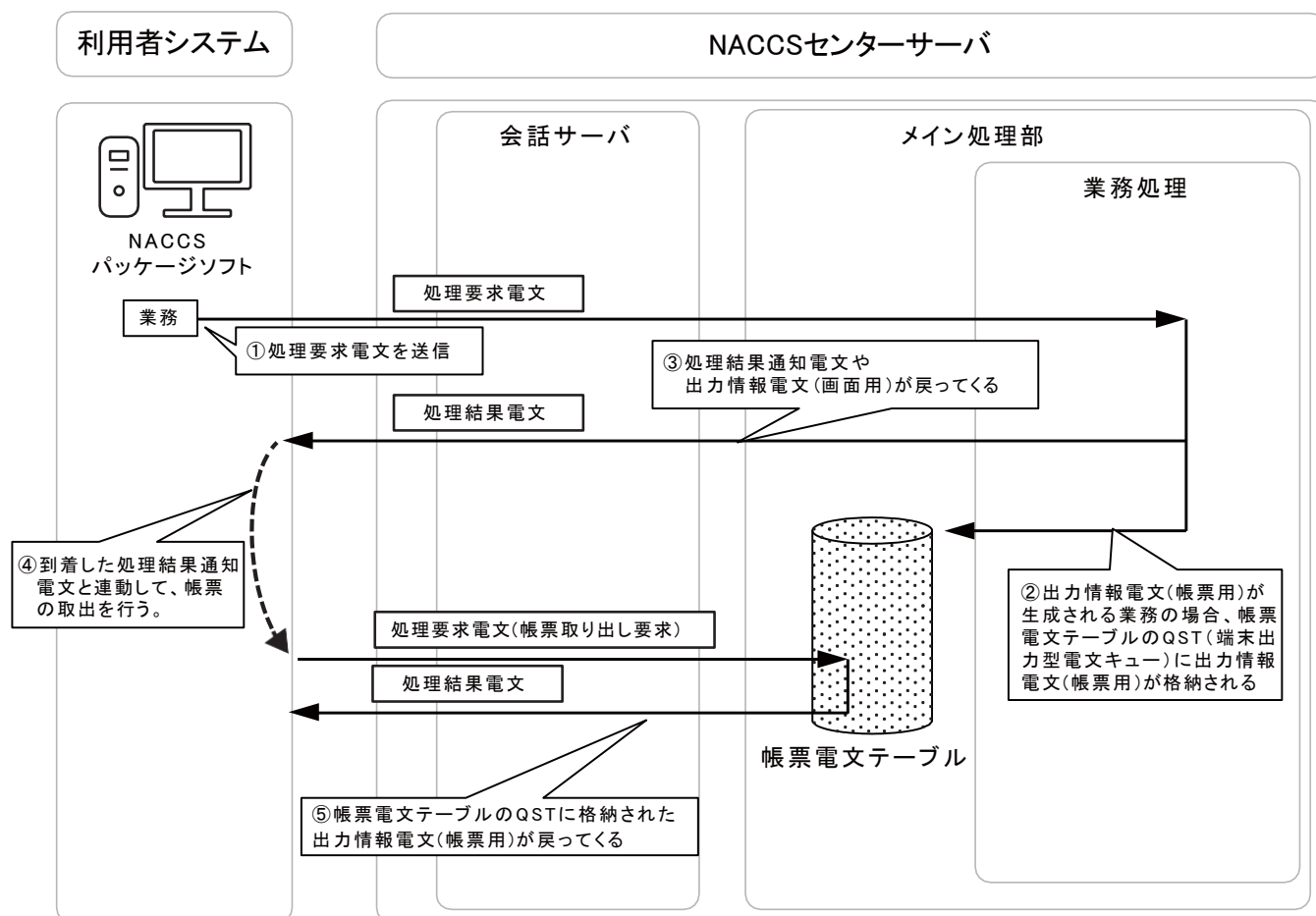


図 4-1-2 業務処理例（INQ 型電文が正常処理される場合）

- ①NACCS パッケージソフトから、処理要求電文を 1 件送信する。
- ②出力情報電文(帳票用)が生成される業務の場合、NACCS センターサーバ内の帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）に出力情報電文(帳票用)が格納される。
- ③処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)が、利用者に戻ってくる。
- ④処理結果通知電文を受け取った NACCS パッケージソフトは、出力情報電文(帳票用)について論理端末名単位で取出しを行う。本例では、処理結果通知電文の受信と連動して、処理要求電文(帳票取り出し要求)を発行している。
- ⑤利用者側からの処理要求により、帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）に格納された出力情報電文(帳票用)が、NACCS センターサーバから送信される。

(B) 正常に処理されない場合

イ. 処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)を受信中に障害が発生した場合の例

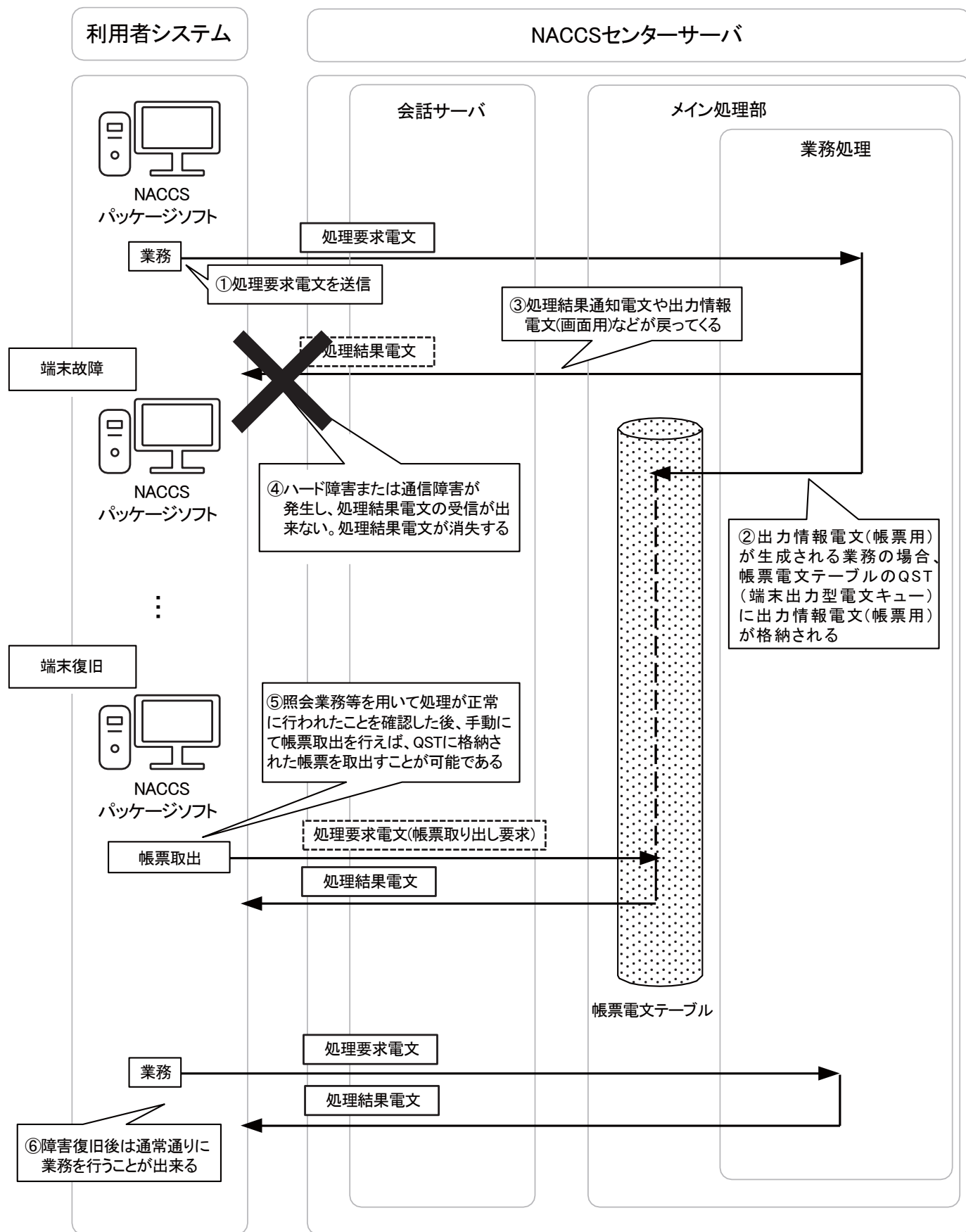


図 4-1-3 業務処理例 (INQ 型電文が正常処理されない場合)
: 処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)を受信中にエラー

- ①NACCS パッケージソフトから、処理要求電文を 1 件送信する。
- ②出力情報電文(帳票用)が生成される業務の場合、NACCS センターサーバ内の帳票電文テーブルの QST (端末出力型電文キュー) に出力情報電文(帳票用)が格納される。
- ③処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)が、利用者に戻ってくる。
- ④ハード障害または通信障害が発生し、処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)の受信が出来ない。この場合、処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)が消失する。
- ⑤障害が復旧した後、照会業務等を用いて、処理が正常に行われていることを確認後、NACCS パッケージソフトのメニューより、手動にて帳票取出を選択することで、帳票電文テーブルの QST (端末出力型電文キュー) に格納された電文を取得することができる。
- ⑥障害復旧後は、通常通り処理結果通知電文と連動した処理要求電文(帳票取り出し要求)の送信や、通常業務電文の送信が可能である。

❗ 利用者からの処理要求に対する処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)を利用者が受信中にハード障害または通信障害が発生した場合には、NACCS センターサーバで電文保証をしていないため、電文の消失が発生する。

ロ. 処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)を受信後に障害が発生した場合の例

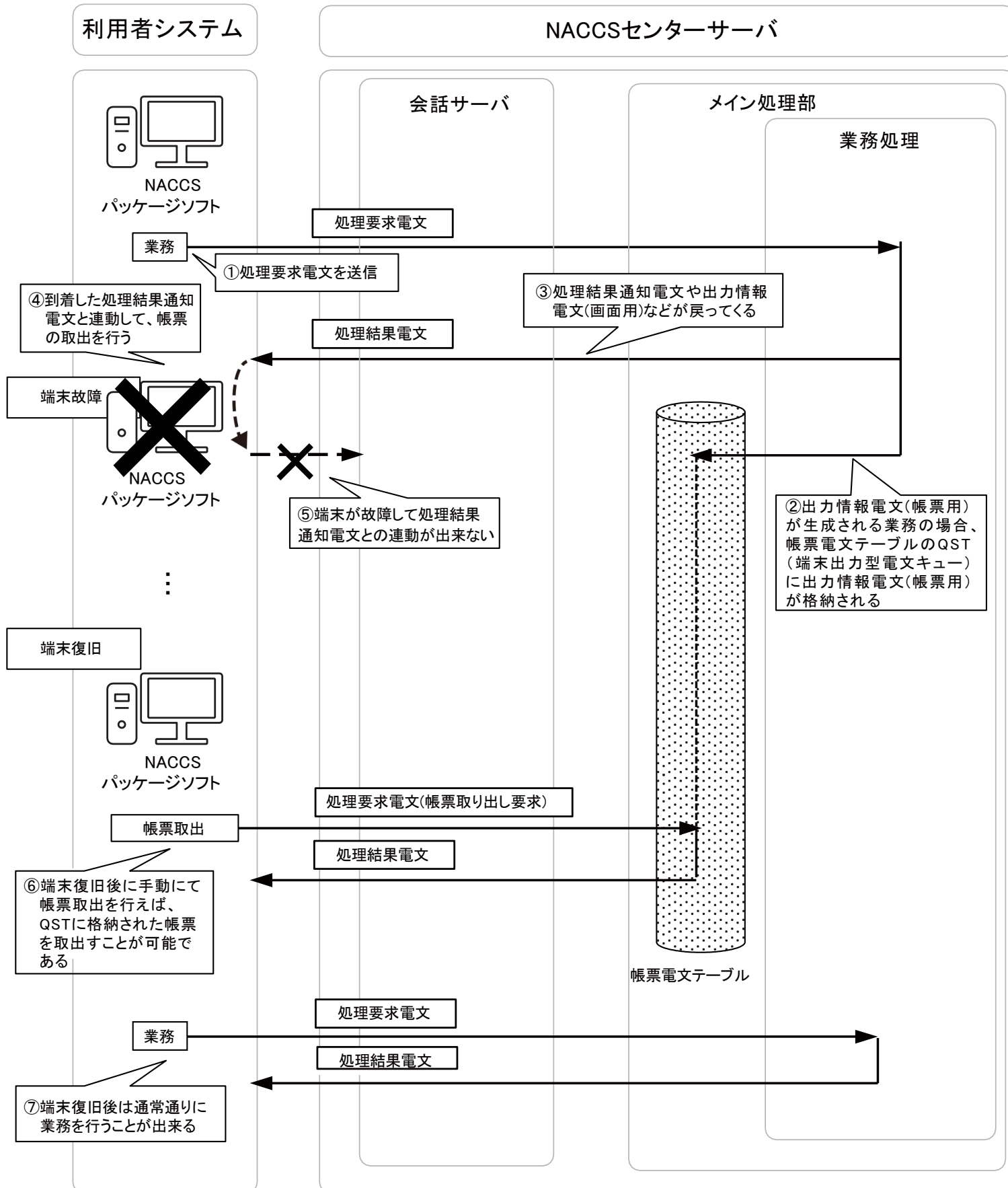


図 4-1-4 業務処理例 (INQ 型電文が正常処理されない場合)
: 処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)を受信後にエラー

- ①NACCS パッケージソフトから、処理要求電文を 1 件送信する。
- ②出力情報電文(帳票用)が生成される業務の場合、NACCS センターサーバ内の帳票電文テーブルの QST (端末出力型電文キュー) に出力情報電文(帳票用)が格納される。
- ③処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)が、利用者に戻ってくる。
- ④処理結果通知電文を受け取った NACCS パッケージソフトは、出力情報電文(帳票用)について論理端末名単位で取出しを行う。本例では、処理結果通知電文の受信と連動して、処理要求電文(帳票取り出し要求)を発行している。
- ⑤ハード障害または通信障害が発生し、電文の送信ができなくなり、処理結果通知電文との連動の処理が停止する。
- ⑥その後、障害が復旧した後、NACCS パッケージソフトのメニューより、手動にて帳票取出を選択することで、帳票電文テーブルの QST (端末出力型電文キュー) に格納された電文を取得することができる。
- ⑦障害復旧後は、通常通り処理結果通知電文受信と連動した処理要求電文(帳票取り出し要求)の送信や、通常業務電文の送信が可能である。

(3) EXC型電文の場合の業務処理シーケンス例

(A) 即時電文取出によりEXC型電文を論理端末名単位に取得する場合

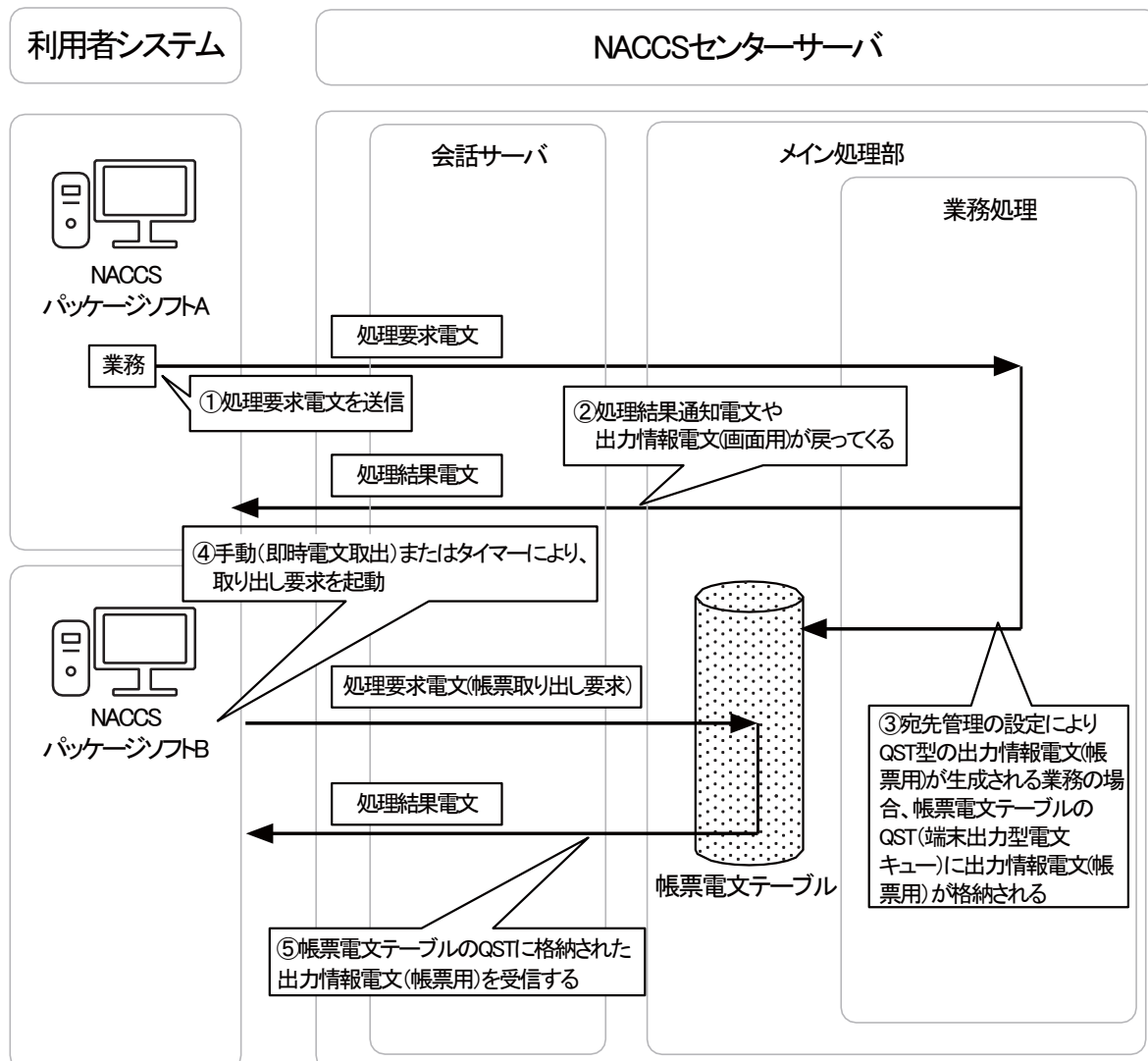


図 4-1-5 業務処理例（EXC 型電文を論理端末名単位に取得する場合）

- ①NACCS パッケージソフト A から、処理要求電文を 1 件送信する。
- ②NACCS パッケージソフト A では、処理結果通知電文や出力情報電文（画面用）が利用者に戻ってくる。
- ③宛先管理の設定により QST 型の出力情報電文（帳票用）が生成される業務の場合、NACCS センターサーバ内の帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）に出力情報電文（帳票用）が格納される。（宛先管理については「5. 宛先管理」を参照）
- ④NACCS パッケージソフト B は、手動（即時電文取出）またはタイマーにより、処理要求電文（帳票取り出し要求）を NACCS センターサーバに向けて送信する。
即時電文取出のタイマー起動の詳細は、「NACCS パッケージソフト操作説明書」を参照すること。
- ⑤NACCS パッケージソフト B 利用者向けの出力情報電文（帳票用）が帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）に存在していた場合、その出力情報電文（帳票用）を取り出すことができる。

(B) 蓄積電文取出によりEXC型電文を利用者コード単位に取得する場合

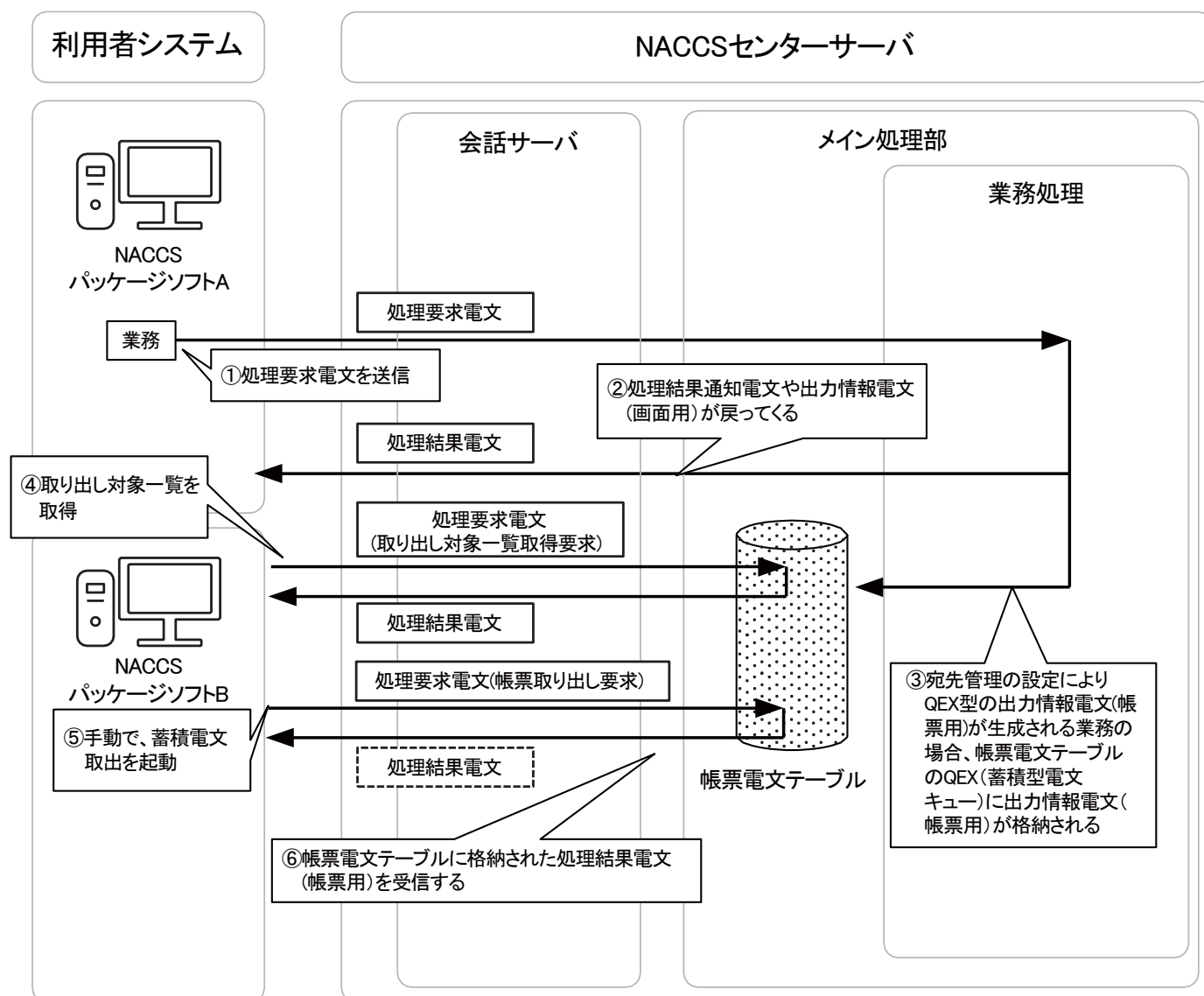
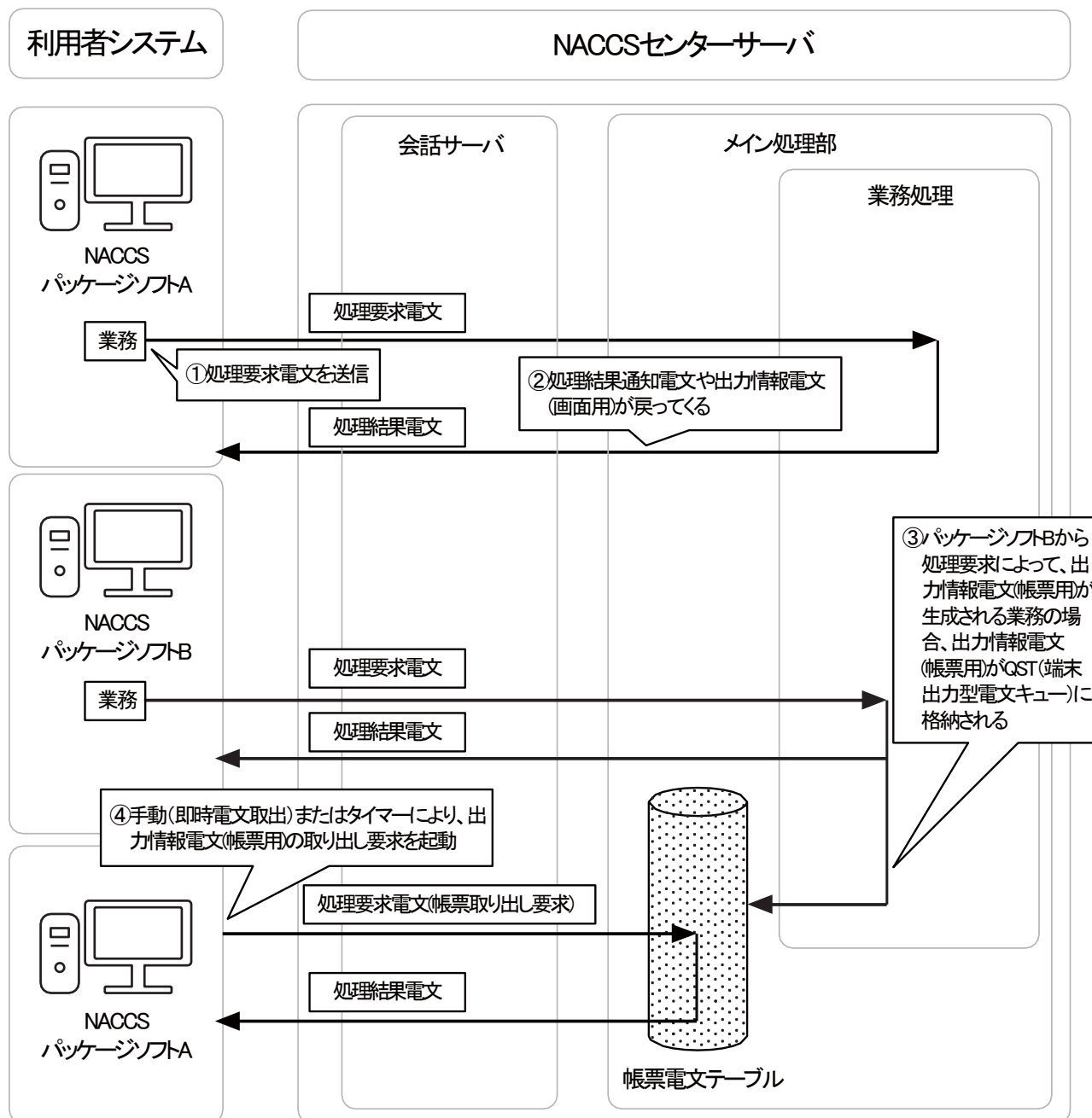


図 4-1-6 業務処理例 (EXC 型電文を利用者コード単位に取得する場合)
: 蓄積電文取出を起動

- ①NACCS パッケージソフト A から、処理要求電文を 1 件送信する。
- ②NACCS パッケージソフト A では、処理結果通知電文や出力情報電文(画面用)が利用者に戻ってくる。
- ③宛先管理の設定により QEX 型の出力情報電文(帳票用)が生成される業務の場合、NACCS センターサーバ内の帳票電文テーブルの QEX (蓄積型電文キュー) に出力情報電文(帳票用)が格納される。(宛先管理については「5. 宛先管理」を参照)
- ④NACCS パッケージソフト B は、取出対象の一覧を取得する。
- ⑤取得した取出対象一覧より希望の帳票を選択し、蓄積電文取出を行う。
- ⑥NACCS パッケージソフト B 利用者向けの出力情報電文(帳票用)が帳票電文テーブルの QEX (蓄積型電文キュー) に存在していた場合、その出力情報電文(帳票用)を取り出すことができる。

(4) EXZ型電文の場合の業務処理シーケンス例



- ①NACCS パッケージソフト A から、処理要求電文を 1 件送信する。
- ②NACCS パッケージソフト A では、処理結果通知電文や出力情報電文（画面用）が利用者に戻ってくる。
- ③NACCS パッケージソフト B が業務を行い、出力情報電文（帳票用）が生成される業務の場合、帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）に出力情報電文（帳票用）が格納される。
- ④NACCS パッケージソフト A は、手動（即時電文取出）またはタイマーにより、処理要求電文（帳票取り出し要求）を NACCS センターサーバに向けて送信し、その出力情報電文（帳票用）を取得する。
即時電文取出のタイマー起動の詳細は、「NACCS パッケージソフト操作説明書」を参照すること。

(5) 添付ファイル電文の場合の業務処理シーケンス例

(A) 添付ファイルを送信する場合

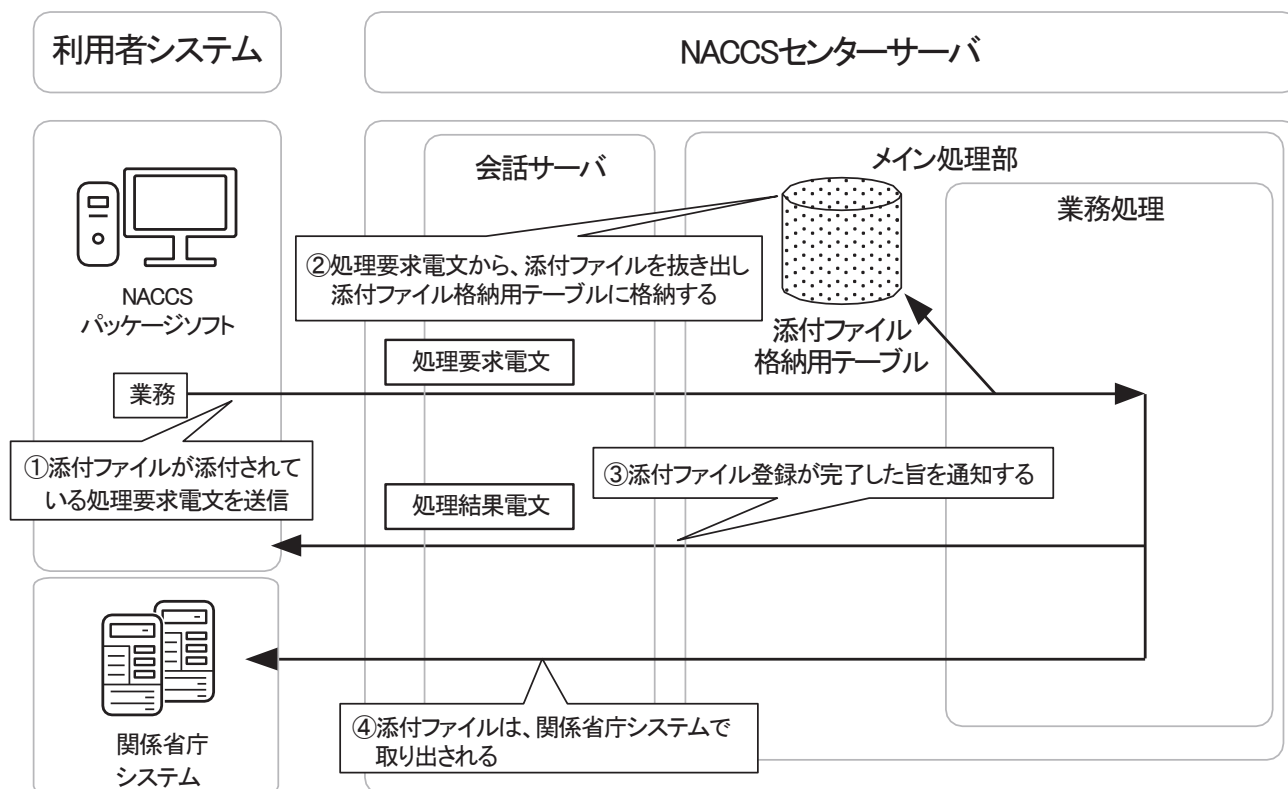


図 4-1-8 業務処理例（添付ファイルを送信する場合）

- ①NACCS パッケージソフト（民間利用者の端末）から、処理要求電文（添付ファイル登録業務）を 1 件送信する。
- ②NACCS センターサーバ側は受け取った処理要求電文から、添付ファイルデータを切り出し添付ファイル格納用テーブルに格納する。
- ③NACCS パッケージソフト（民間利用者の端末）には、添付ファイル格納完了の旨の処理結果通知電文が返却される。
- ④格納した添付ファイルは、関係省庁システムによって取り出される。

(B) 添付ファイルを取得する場合

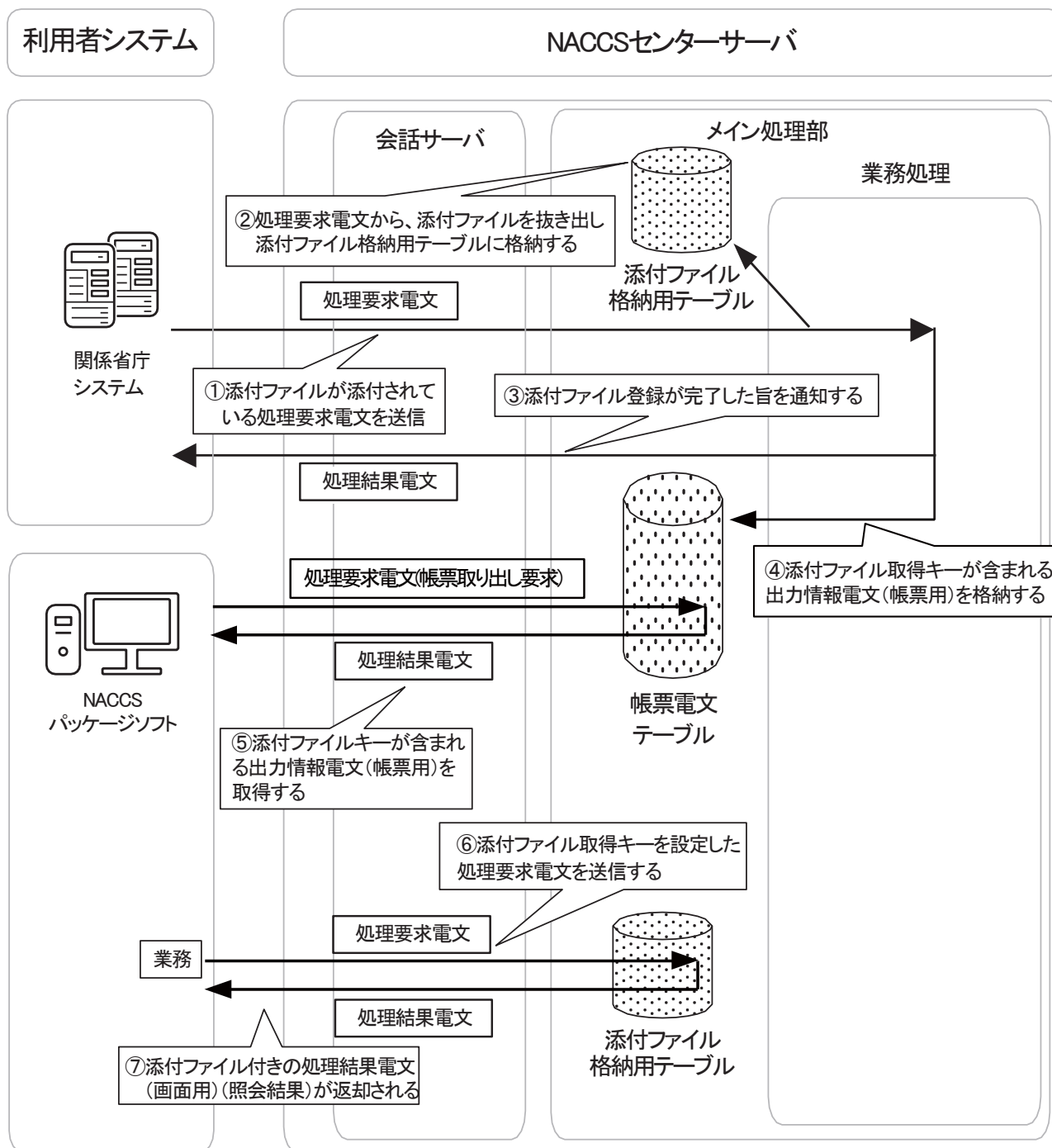


図 4-1-9 業務処理例 (添付ファイルを取得する場合)

- ①関係省庁システムは、処理要求電文(添付ファイル登録業務)を1件送信する。
- ②NACCS センターサーバ側は受け取った処理要求電文から、添付ファイルデータを切り出し添付ファイル格納用テーブルに格納する。
- ③関係省庁システムには、添付ファイル格納完了の旨の処理結果通知電文が返却される。
- ④NACCS センターサーバ側は添付ファイル取得キーを払出し、当該キー情報が含まれる出力情報電文(帳票用)を帳票電文テーブルに格納する。
- ⑤NACCS パッケージソフト(民間利用者の端末)から、添付ファイル取得キーが含まれる出力情報電文(帳票用)の取り出しを行う。
- ⑥NACCS パッケージソフト(民間利用者の端末)から、添付ファイル取得キーを設定した処理要求電文(添付ファイル取得業務)を送信する。
- ⑦NACCS パッケージソフト(民間利用者の端末)には、添付ファイル付きの出力情報電文(画面用)(照会結果)が返却される。

4.1.4 その他

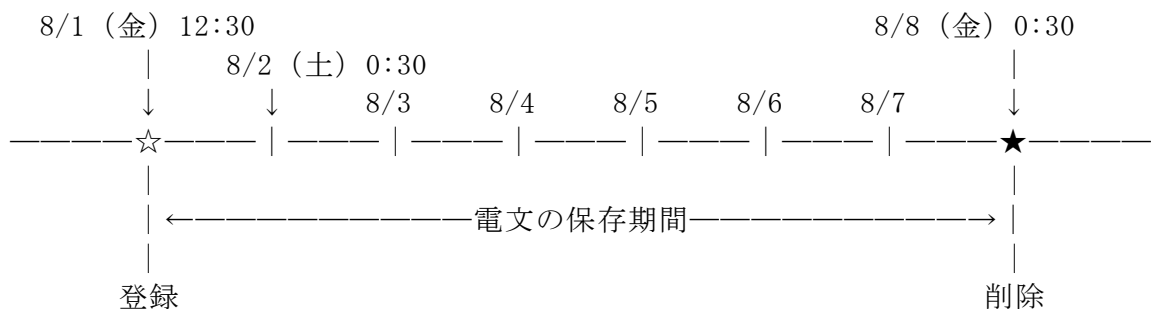
(1) 帳票電文テーブルに格納された出力情報電文(帳票用)の保存期間

帳票電文テーブル内の出力情報電文(帳票用)については、利用者は速やかに取り出しを行わなければならない。電文は、利用者が取り出しを行った後に帳票電文テーブル内から削除される。

ただし、利用者が取り出していない出力情報電文(帳票用)については、帳票電文テーブルに登録された日を含めて、7日間(土日祝日を含む)は電文を帳票電文テーブル内に保存する。電文の削除は深夜の一定時刻に行われる。

なお、ゴールデンウィーク、年末年始においては、NACCSセンターで別途保存期間の設定変更を行う。

(参考) 帳票電文テーブルに格納された出力情報電文(帳票用)の削除例
(仮に一定時刻を午前 0:30 とした場合)



(2) 添付ファイル格納テーブルに格納された添付ファイルの保存期間

業務ごとの添付ファイルの保存期間については、「業務仕様書」の「各種 (DB) のシステム保存期間」を参照のこと。

(3) その他の注意事項

- (A) システムの高負荷時には、全利用者からの処理要求電文の受信を停止する等の運用制限をかける場合がある。この場合、NACCSセンターから利用者に対し周知を行う。
- (B) 他端末が障害の場合にその端末向けの帳票を取り出す機能をNACCSパッケージソフトに搭載する。その場合のシーケンスを、図4-1-10に示す。

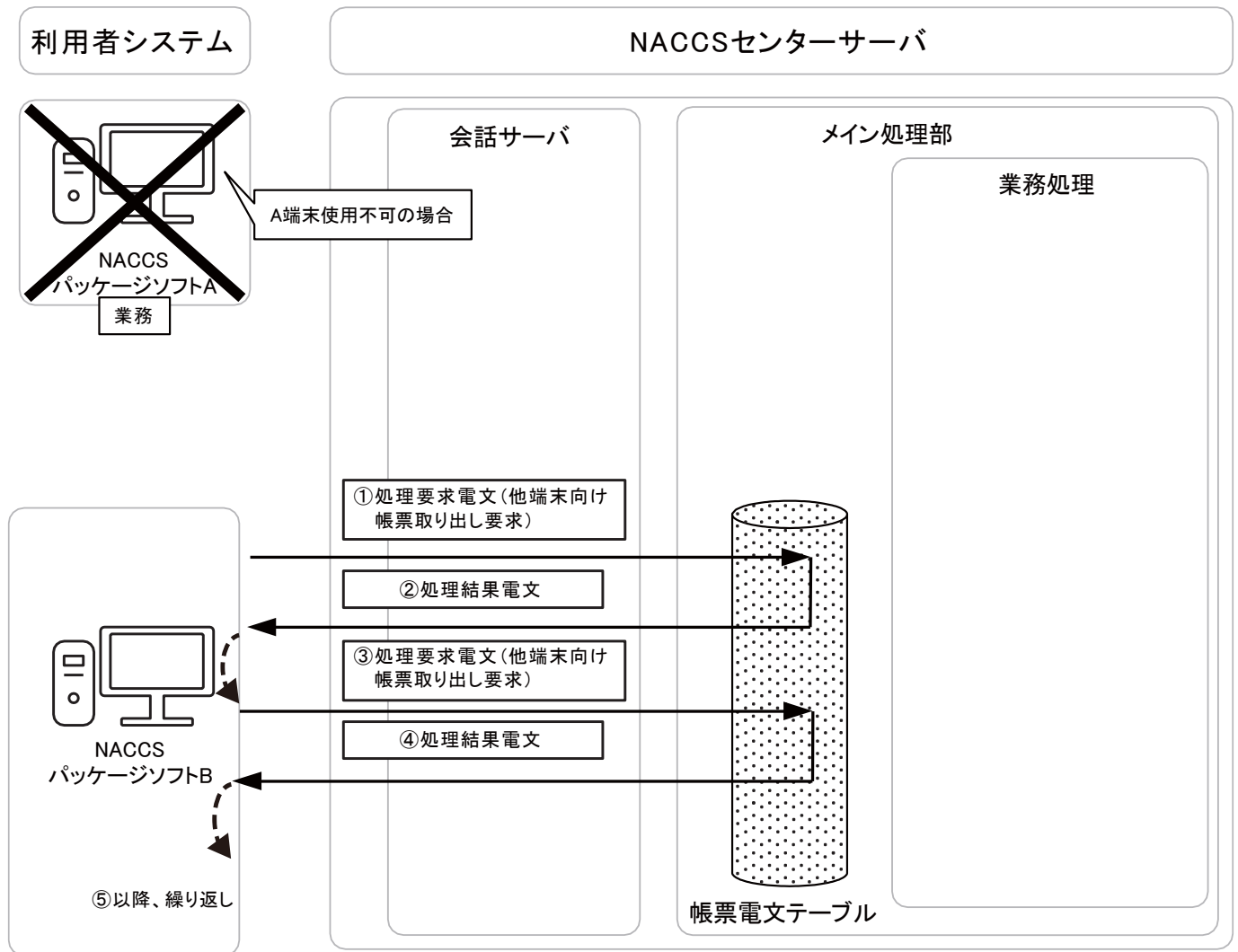


図 4-1-10 インタラクティブ処理方式（NACCS パッケージソフトを使用）の処理例
： 端末が使用不可の際の他端末からの出力情報電文（帳票用）取出しの場合

- ①NACCS パッケージソフト B において、NACCS パッケージソフト A 向けに出力され、NACCS センターサーバの帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）に格納されている出力情報電文（帳票用）を取得するため、端末アクセスキーを入力し、手動で処理要求電文（他端末向け帳票取り出し要求）を送信する。
- ②会話サーバは、入力された端末アクセスキーに対する出力情報電文（帳票用）を帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）から取得し NACCS パッケージソフト B に送信する。
- ③NACCS パッケージソフト B は、次の出力情報電文（帳票用）を取得するため、②の出力情報電文（帳票用）と連動して、他端末向け帳票取出しを NACCS センターサーバ側へ送信する。
- ④帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）に出力情報電文（帳票用）が存在していれば、NACCS パッケージソフト B に対して電文の送信を行う。
- ⑤以降、帳票電文テーブルの QST（端末出力型電文キュー）から NACCS パッケージソフト A 向けの出力情報電文（帳票用）が無くなるまで③、④を繰り返す。

① 端末アクセスキーとは？

端末アクセスキーは、NACCSセンターが1論理端末に対して1:1で発給し、管理、運用を行う。NACCSセンターサーバは論理端末と端末アクセスキーで端末を特定するため、他端末の端末アクセスキーを用いて他端末向けの出力情報電文(帳票用)を取得することができる。